

# 上宮寺通信

第三十号

## 「不要不急」も大事

世界中で新型コロナウイルスの感染拡大が起こってから一年が経とうとしています。しかし、いまだ収束する兆しが見えず、日本でも一部地域に再び緊急事態宣言が出されました。その宣言は愛知県も対象となり「不要不急」の外出を控えるように求められています。

この「不要不急」という言葉は文字通り「急いである必要がないこと」という意味があります。「不要不急」の外出を控えたから、ほとんど外に出ることがなくなつたといわれる人もいます。よく考えたら人間の行動というのは大部分が「不要不急」

のことなのかもしれません。

『大無量寿経』の中でも「世人、薄俗にして共に不急の事をあらそう」(世の中の人は、目先の、不要不急のことばかりに心を奪われて、人生で本当に大切なことを知らない)と人間の有様を指摘しています。

しかし、効率ばかりを求めて、人生で本当に大切なことに気づくことができるでしょうか。不要不急なことも含めて、いろいろ経験して初めて知ることができるとは思いません。

たとえば芸術作品を見て感動する、音楽を聴いて癒される、散歩に出かけ季節を感じる等々、いわば不要不急とされるものに触れる、そういう積み重

ねが人間としての深みと幅を持たせていくのでしょうか。

リモートで在宅勤務が多くなつた知人がこんなことを漏らしていました。「確かに在宅勤務は効率的だけど、気持ち的にはすつきりしない」。

その知人は休み時間にする同僚とのたわいもない会話、会社への生き帰りで感じる街の空気感、そういったものが仕事への意欲へつながるとも言っていました。

仏教は「人生に無駄なものはない」ということを教えてくれます。人生のすべてが因となり、縁となり、いまの私となっている。その因縁果に気づき、「いま在ることに感謝する」ことが人生で本当に大切なことだと教え

てくれるのです。

新型コロナウイルスは私たちの生活を激変させました。いまはこのウイルスに感染しない、させないために行動を我慢しなくてはならないところもあります。

ただ、不要不急と思われるようなことも、人間形成には大事なことなのだという視点だけは忘れないようにしなくてはなりません。



◆行事案内

上宮寺の行事

3月8日(月)

春のお彼岸・永代経法要

時間：午前10時

法要 引き続き 法話

(正午頃終了予定)

法話：林 祥真師(一宮市禮讚寺)

※ご参詣の際はマスクの着用をお願いいたします。

※午後の法要、お斎、呈茶はございません。

※緊急事態宣言の延長、再発出など感染状況が悪化した場合は、内勤め(参詣者なし)の法要にさせていただきます。

◆話題あれこれ

○年末から年始にかけて寒波がやってきて、元旦はときおり雪が舞うような寒さでした。例年ですと皆さんと一緒に修正会をおつとめするのですが、今年は新型コロナウイルスの感染予防のため中止にして、自由にお参りをしてください。自由にお参りをしたい方には御礼申し上げます。

○緊急事態宣言が出て、まだまだ予断を許さない状況ですが、事態が好転するものと信じて、3月には春のお彼岸・永代経法要をおつとめます。午前だけの法要となりますが、ぜひ皆様のご参詣をお待ちしております。

○3月に入っても日によっては寒い日があるかと思えます。春彼岸・永代経法要では換気を行うため寒いかもしれません。防寒対策もよろしく願います。

○受験を控えたお子さん、お孫さんがいるご家庭もあると思います。新型コロナに翻弄された一年でしたが、皆さんの努力が報われるようお祈りします。

○冬本番。体調には十分お気を付けてください。

【雑感】

『「人」という漢字はお互いが支え合っていることを表しているんだ!』。「金八先生」世代である私は、熱弁をふるう武田鉄矢演じる金八先生の言葉に感動しながらテレビを観ていた覚えがあります。しかし、先日、娘にその説は間違いであると指摘されました。早速、漢和辞典を引いて調べたところ、「人」という漢字は「立っている人を横から見た形」とのこと。目からうろこだったので、金八先生の言っていることの方がいいよな気がするのは私だけでしょうか。

(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和三十九年一丁目十九番十五号

☎052-871-0547

